

令和6年度入試の出題意図・ねらい

国際関係コース 一般選抜・前期

全体
これからの日本社会が迎える「多文化共生社会」でも必ず問題となる「差別」概念、とりわけ「人種差別」「民族差別」を取り上げ、文章の読解力・理解力を確認するとともに、受験生の「多文化共生社会」への問題関心、多様性への理解や、論理的な立論の力を見たい。
問1
近代国民国家の建設とともに領土拡大をはかった日本の歴史的背景と「人種」の概念についての内容が理解できているかどうかを確認する。
国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点
<ul style="list-style-type: none">《求める人材》1(2)の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。《選抜の基本方針》における「高等学校教育課程の基礎学力」と「表現力・思考力」を見る。
問2
問1と同じく、文章中で数度出てきたキーワードの内容が読み取れ、理解できているかどうかを確認する。
国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点
<ul style="list-style-type: none">《求める人材》1(2)の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。《選抜の基本方針》における「高等学校教育課程の基礎学力」と「表現力・思考力」を見る。
問3
いまなお社会に根強く残り、真の多文化共生社会の実現のための障壁となっている「民族差別」などの私たちの身近にも起こりうる問題に関して、受験生がどのように問題関心を持ち、どのような議論を展開するのかを確認する。
国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点
<ul style="list-style-type: none">《求める人材》3(1)の「北東アジアをはじめとするアジア地域や国際社会、またグローバル化した国内社会が抱える課題に強い関心を持ち、背後にある歴史や地域的特性について主体的に探究しようとする姿勢」と同(2)のうちの「多文化・異文化への好奇心、寛容な姿勢」を見る。《選抜の基本方針》における「主体的な探究心」、「協働性・多様性への理解」、「表現力・思考力」などを見る。